

自然保育のすすめ ～森の中でのびのびと～

皆さんは子供の頃、森で遊んだ経験はありますか。幼児期のうちに、自然の中でそれぞれが自由に色々なことを試し、考え、教えあうことで、自尊心や自己肯定感、協調性や共感力などの「生きる力」が身に付くと言われています。

都市部だけでなく自然豊かな地方であっても子供たちが自然と触れ合う機会が減っている中で、自然環境を活かした保育・教育である「自然保育」に取り組む地域があります。長野県、鳥取県、広島県では、先行して県が独自に認定制度等を設けて推進しています。また、3県が呼びかけ平成30年に設立された「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」には令和2年5月末現在119自治体(16県、103市町村)が参加し、全国的にも広がりを見せています。

自然保育は、保育園や幼稚園のほか、託児所、自主保育、自然学校等で行われるもの、保護者の自主的な活動から発展したものもあり、様々な形態で行われています。これらの活動形態のひとつである、「森のようちえん」は、全国ネットワークが設立され、全国交流フォーラム等を通じて実践者の交流や子育ての情報交換・情報提供等が行われています。

今、森の中でのびのびと、好きなように遊ぶ中で、子供たちの「生きる力」が育っています。



「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」
<https://www.facebook.com/moritoshizen>



「NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟」
<http://www.morinoyouchien.org/>

